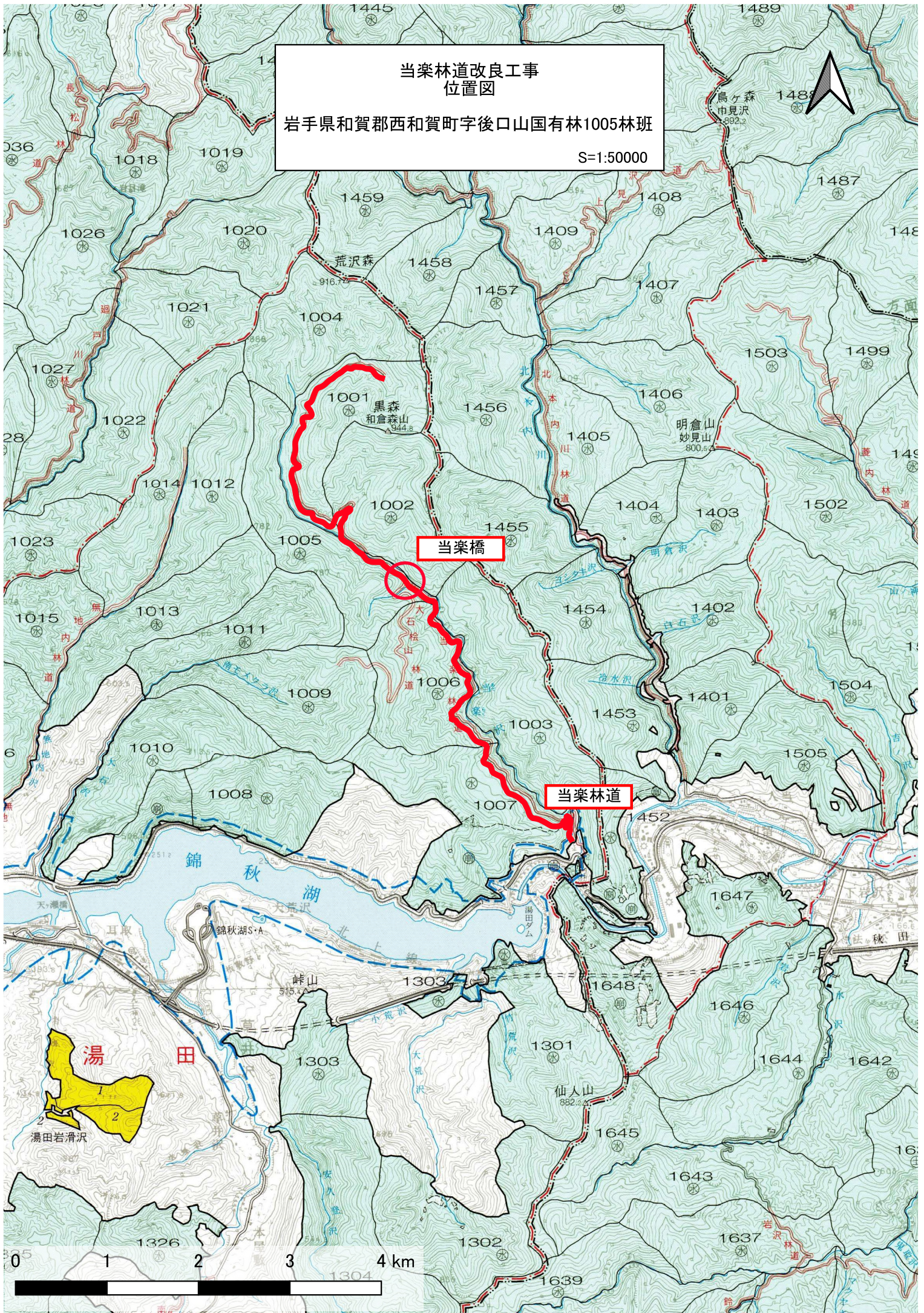


当楽林道改良工事
位置図

岩手県和賀郡西和賀町字後口山国有林1005林班

S=1:50000



当楽橋

当楽林道

湯田

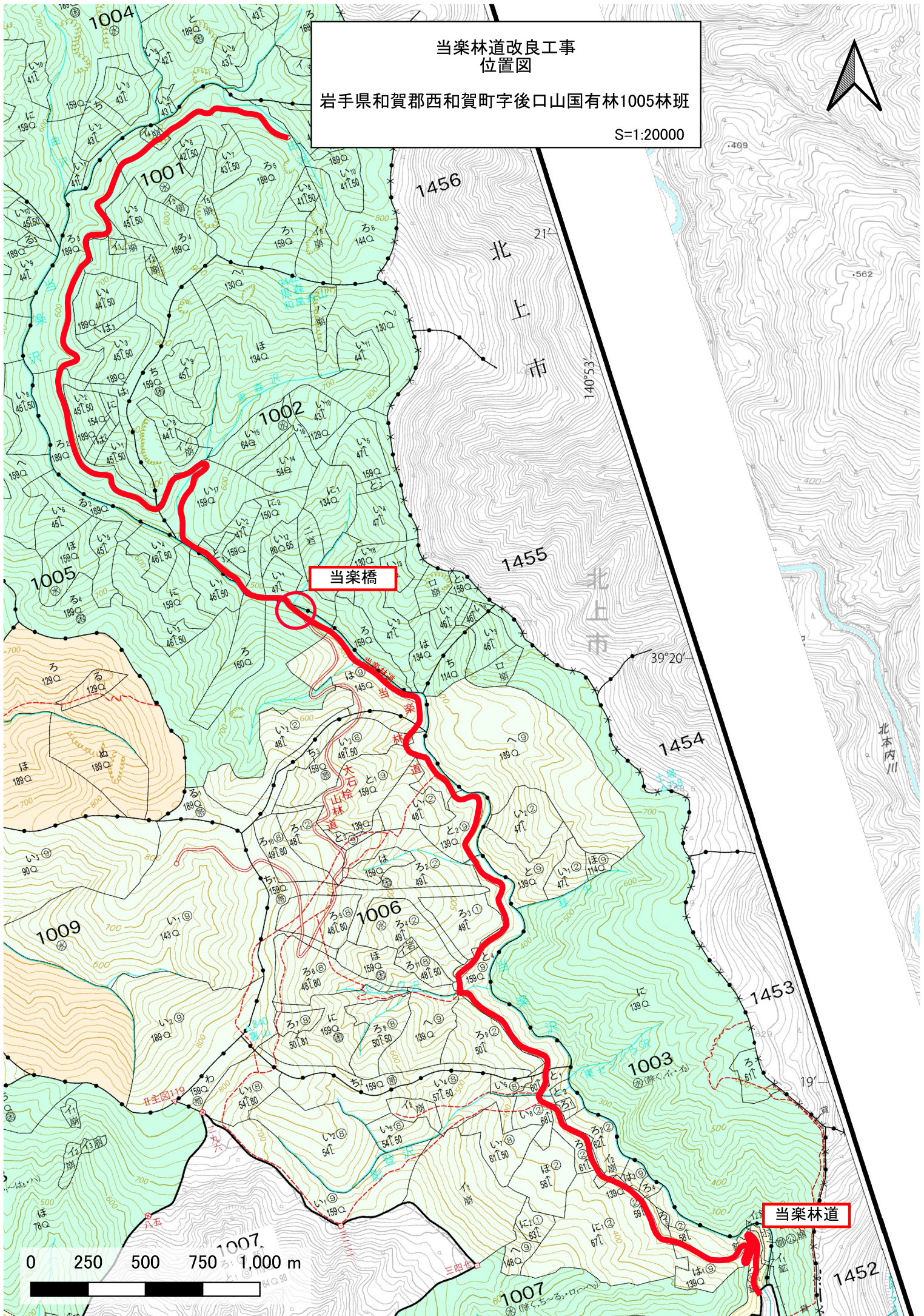
錦秋湖



当楽林道改良工事
位置図

岩手県和賀郡西和賀町字後口山国有林1005林班

S=1:20000

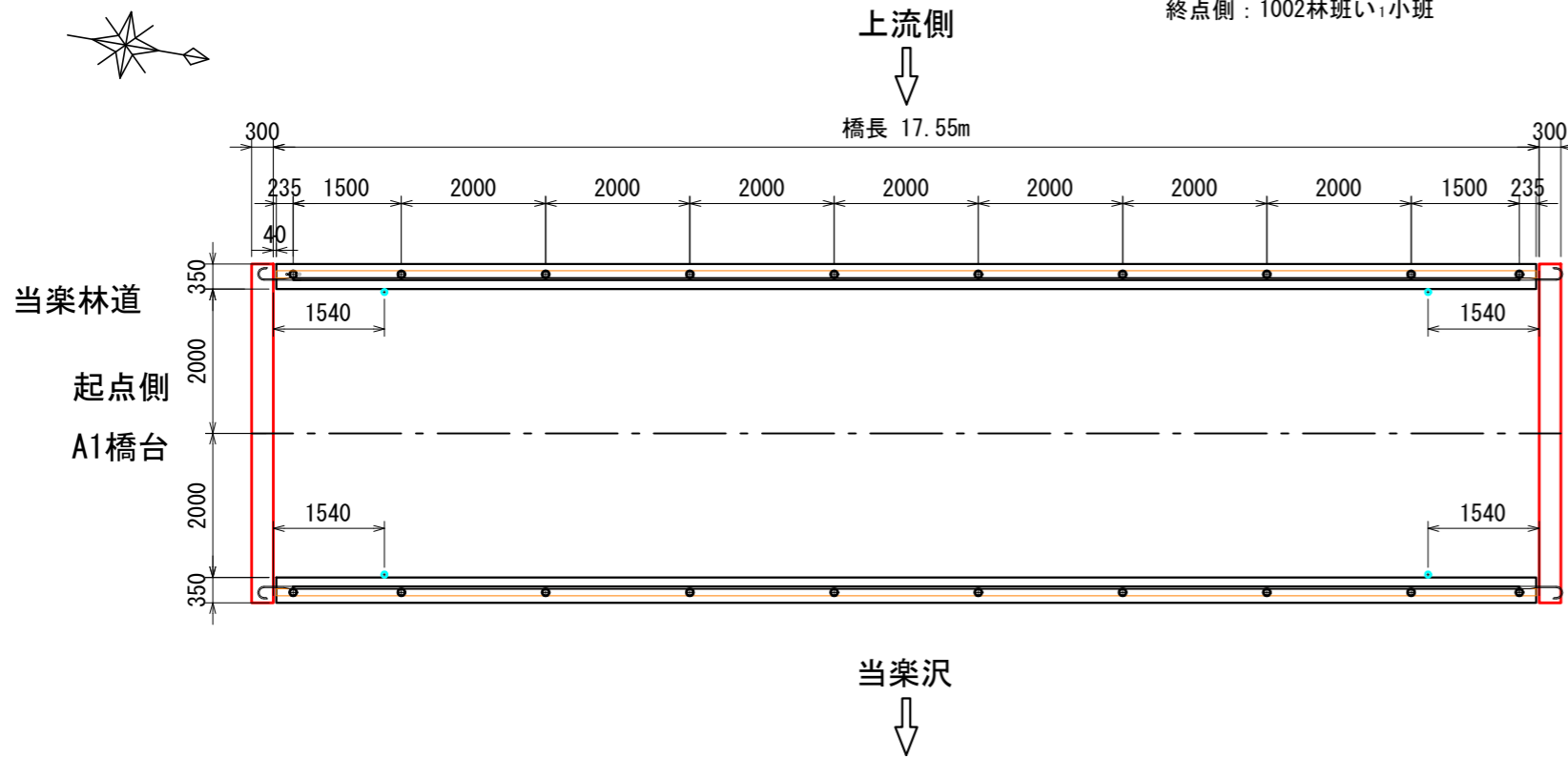


当楽橋

当楽林道



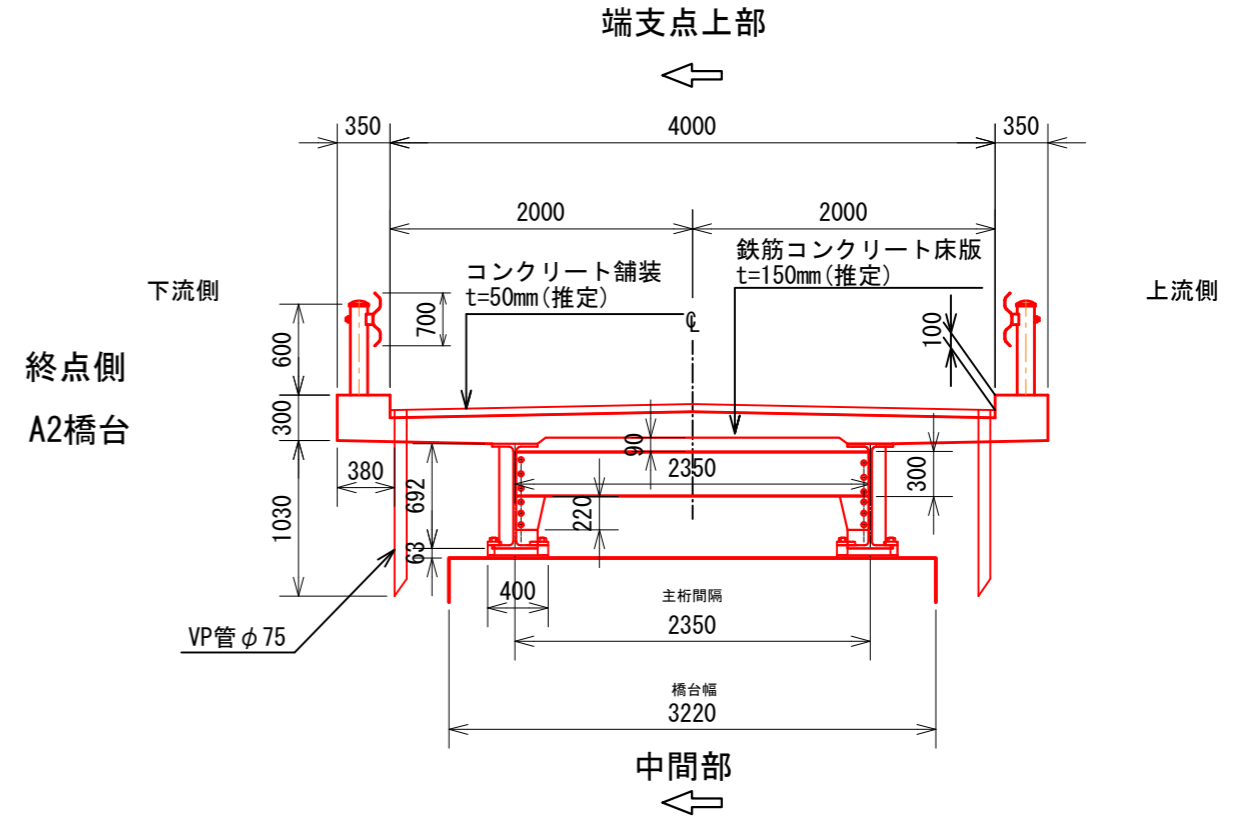
橋面図 (橋面・地覆・防護柵) S=1:100



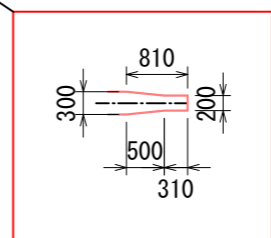
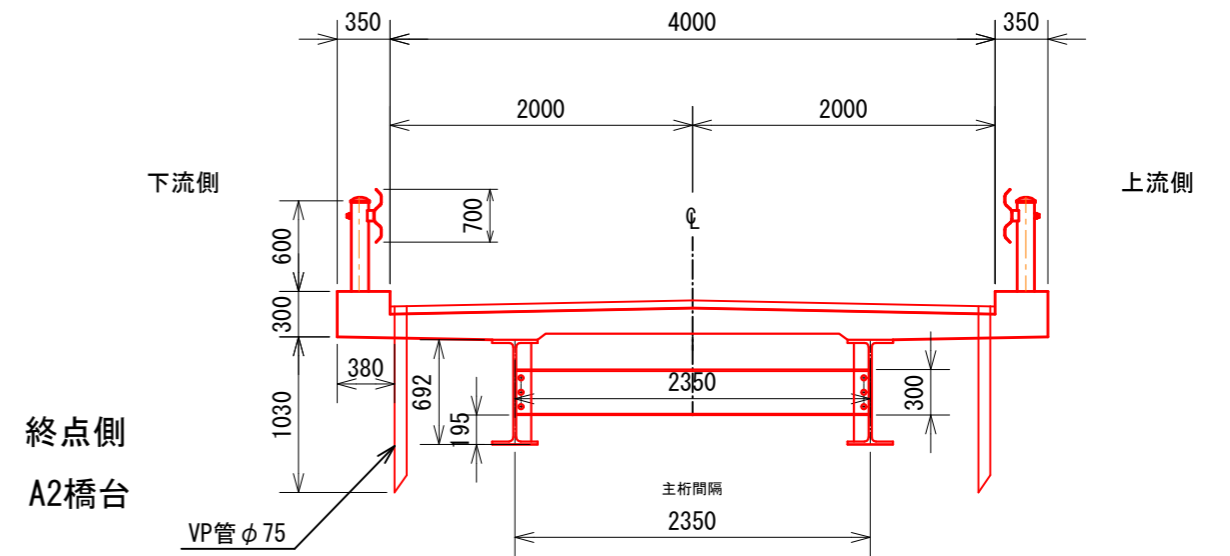
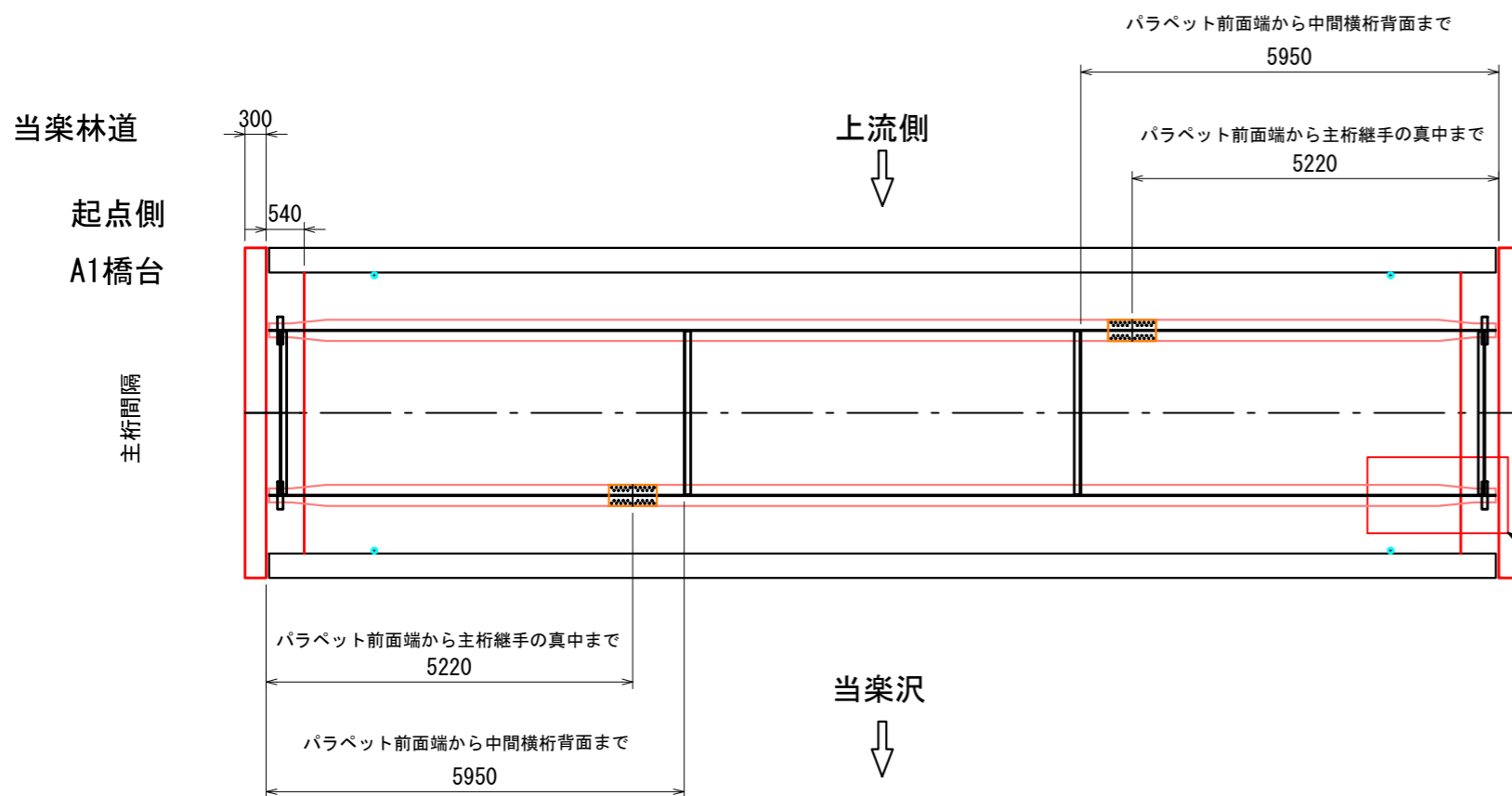
現況橋梁一般図
(当楽橋)

起点側: 1005林班あてらくぼしる4小班
終点側: 1002林班い1小班

起点側正面図 S=1:50



底面図 (主桁・横桁・床版) S=1:100



図名	現況橋梁一般図 (当楽橋) 1/2
署名	岩手南部森林管理署
名称	当楽林道調査設計業務
縮尺	1:100

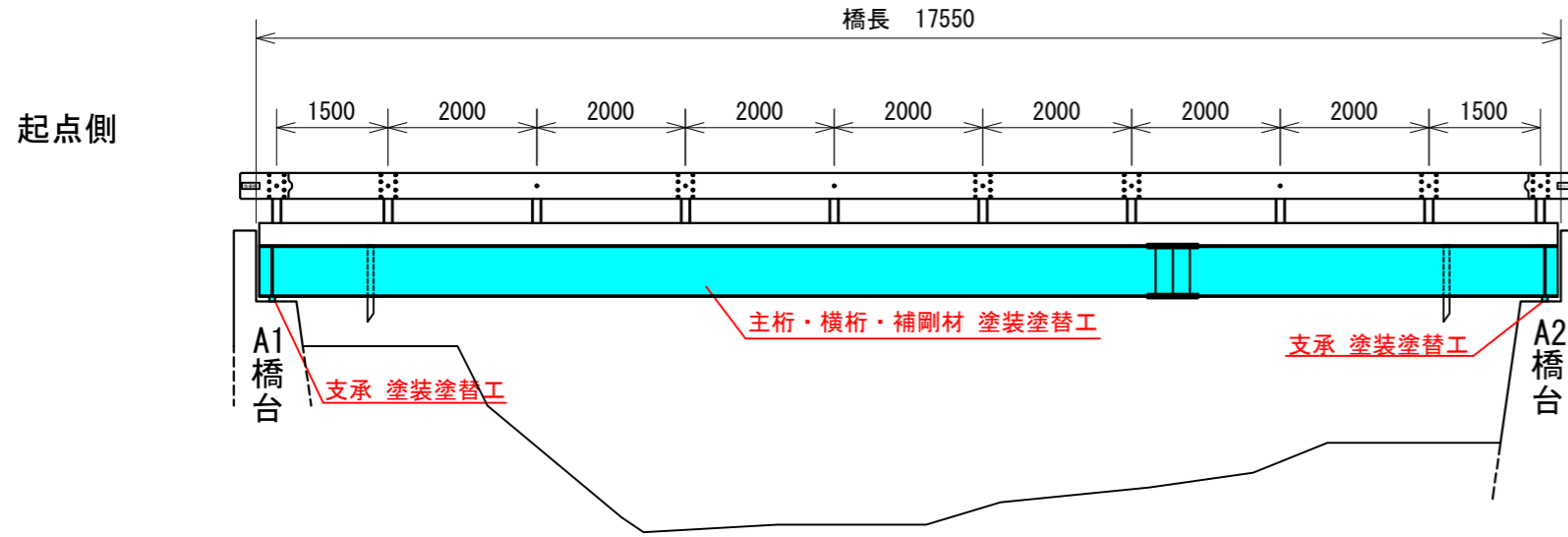
側面図(上流側)
下流側から望む

起点側: 1005林班る₄小班
終点側: 1002林班い₁小班

側面図(上流側)

S=1:100

補修一般図
あてらくぼし
(当楽橋)

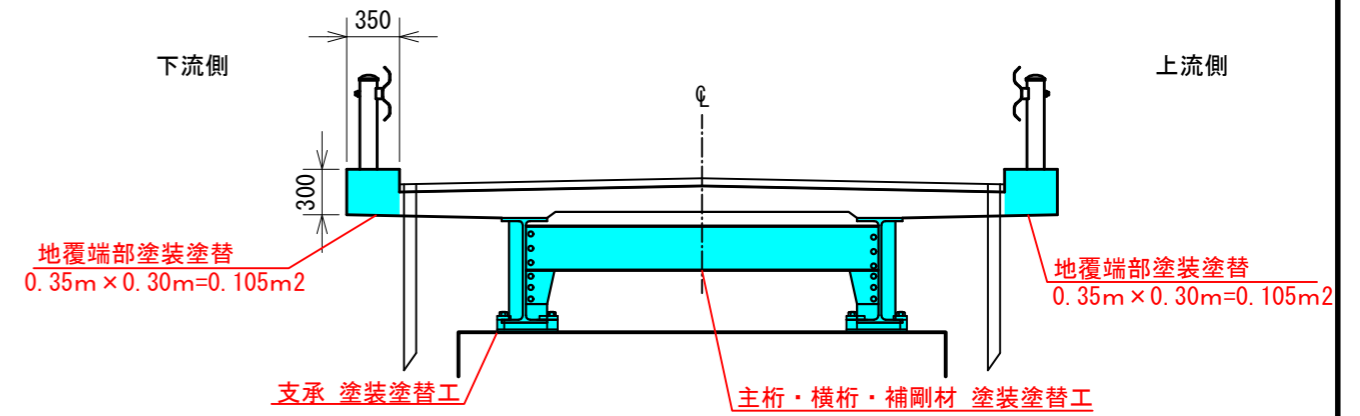


※ 塩ビ管の排水管は腐食しないため塗装しない。

起点側正面図 S=1:50

端支点上部

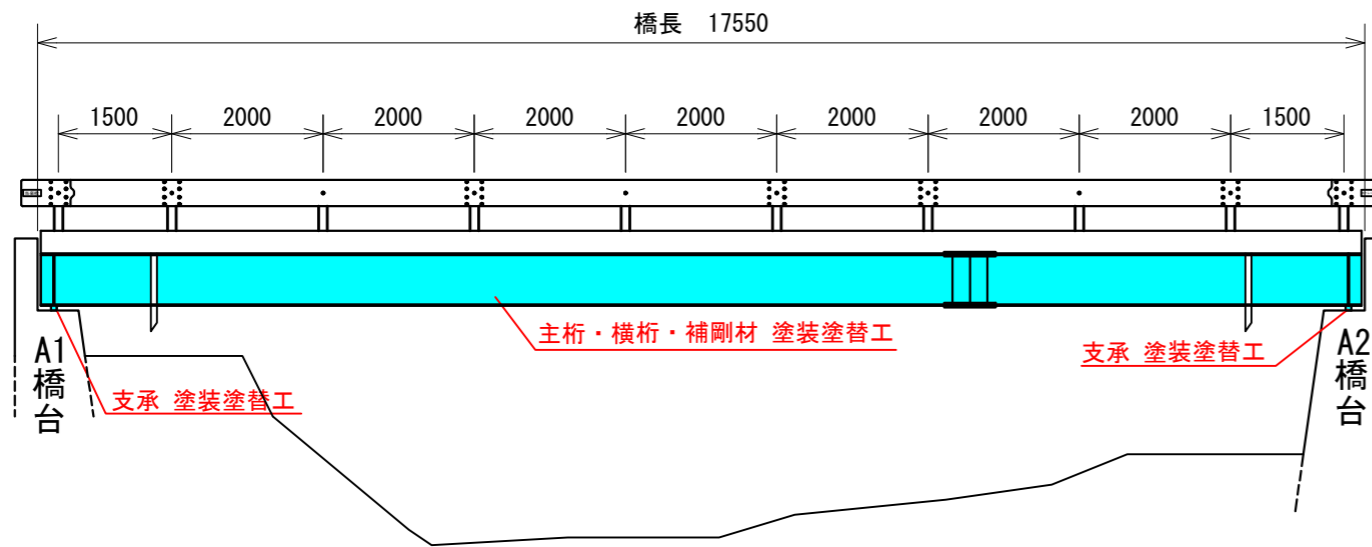
終点側



側面図(下流側)

S=1:100

起点側

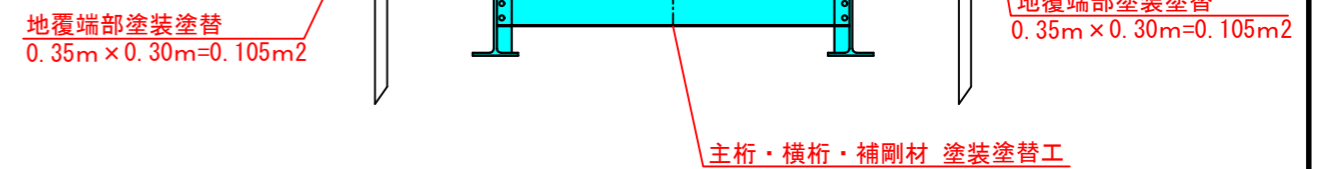


※ 塩ビ管の排水管は腐食しないため塗装しない。

中間部

下流側

終点側



※ 塩ビ管の排水管は腐食しないため塗装しない。

図名	補修一般図(当楽橋) <small>あてらくぼし</small> 1/2
署名	岩手南部森林管理署
名称	当楽林道調査設計業務
縮尺	1:100

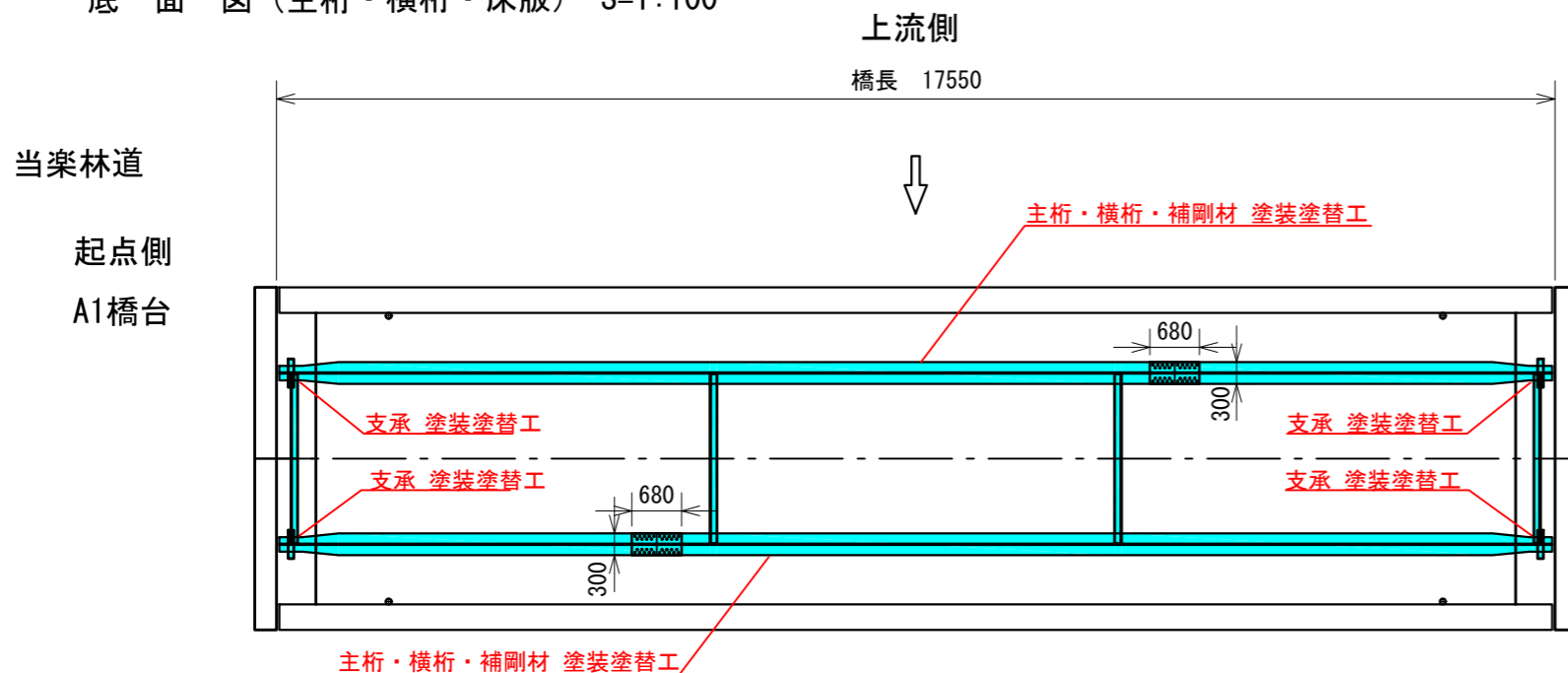
現況橋梁一般図

あてらくぼし
(当楽橋)

起点側：1005林班る4小班

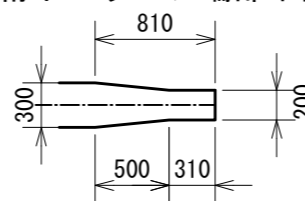
終点側：1002林班い1小班

底面図(主桁・横桁・床版) S=1:100

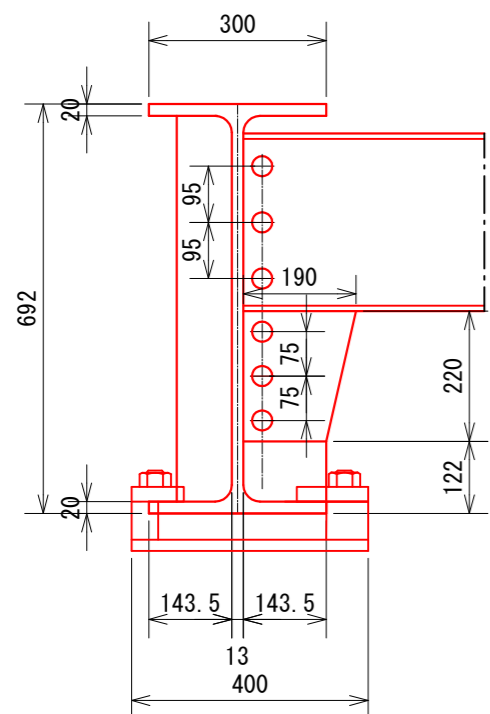


当楽沢

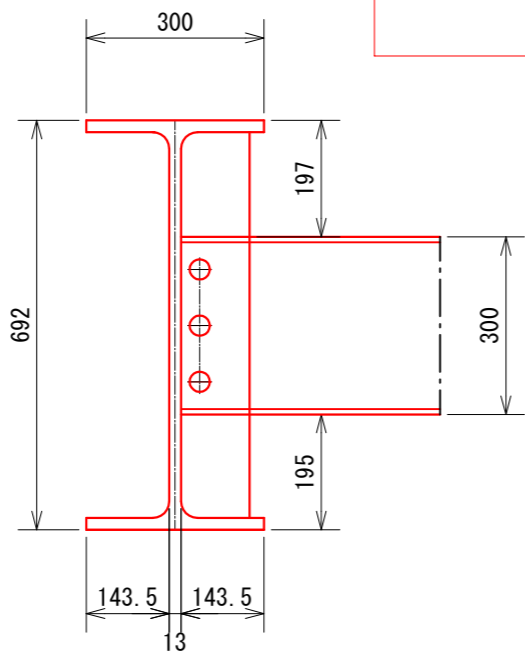
主桁下フランジ端部平面図



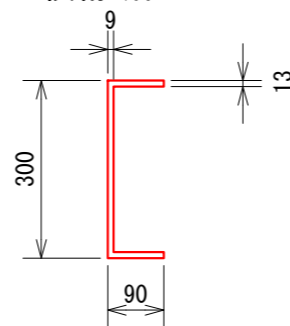
主桁・補剛材断面



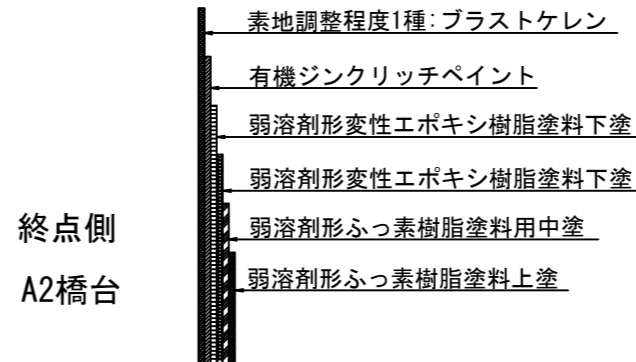
中間部
継手部



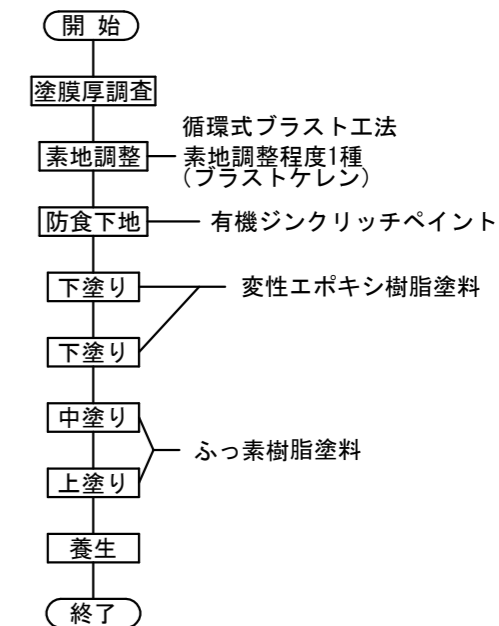
横桁断面



塗装概略図



施工フロー



塗装仕様(Rc-I 塗装系)

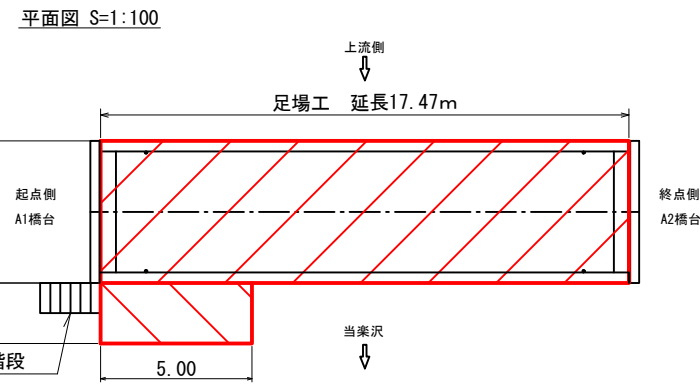
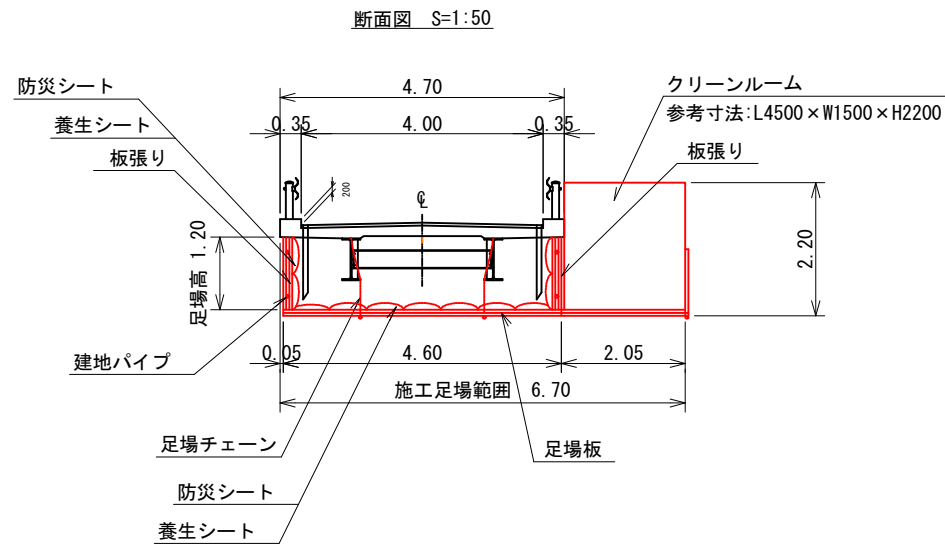
塗装工程	塗料名	使用量 (g/m ²)	標準膜厚 (μm)	塗装間隔
素地調整	素地調整程度1種 (プラストケレン)			4時間以内
防食下地	有機ジンクリッチペイント	600	75	1日~10日
下塗り	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	240	60	1日~10日
下塗り	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	240	60	1日~10日
中塗り	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗	170	30	1日~10日
上塗り	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗	140	25	1日~10日

塗装面積表

名称	塗装面積
主桁	78.38m ²
横桁	8.42m ²
支承	0.64m ²
地覆端部	0.42m ²
合計	87.86m ²

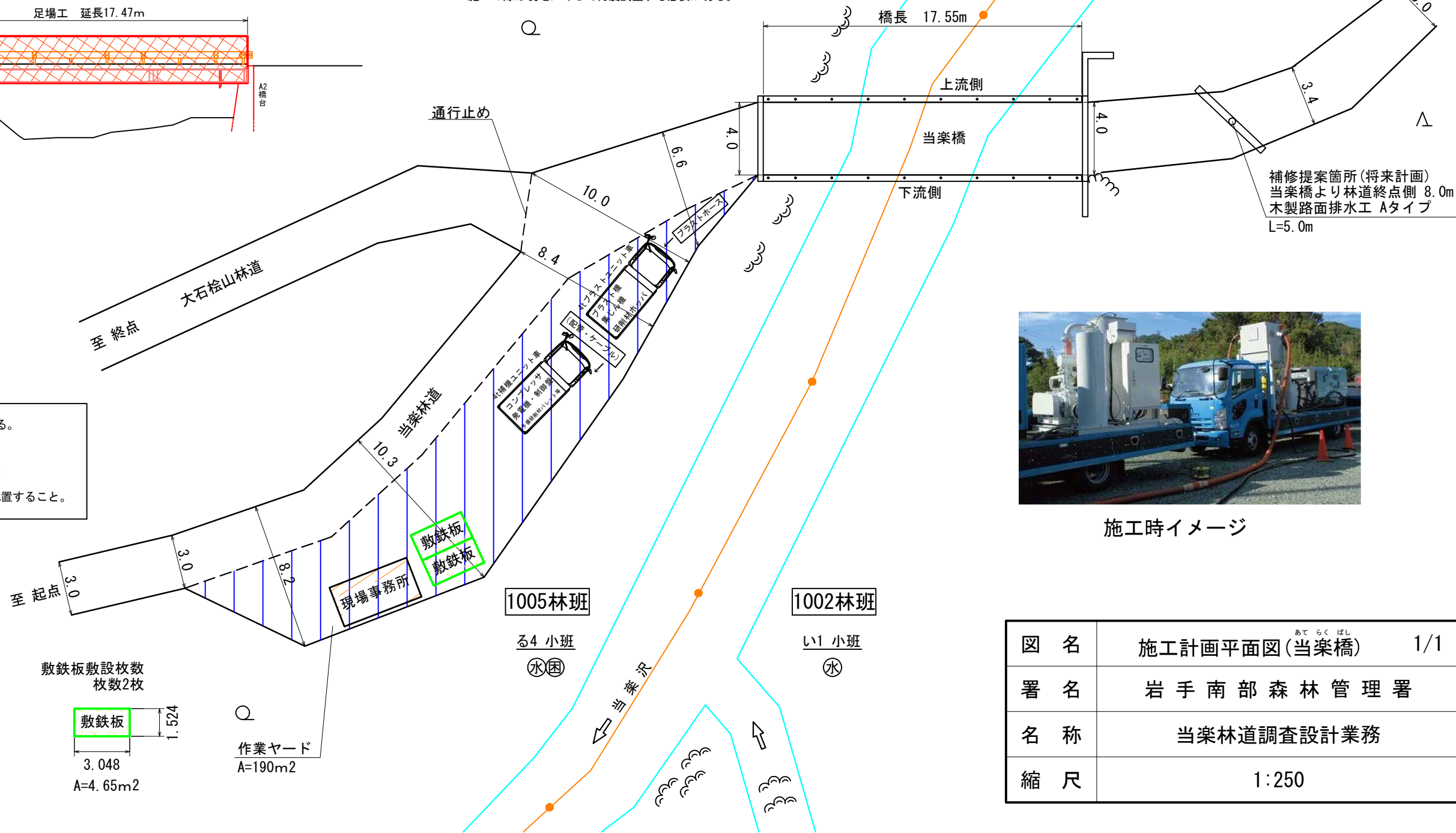
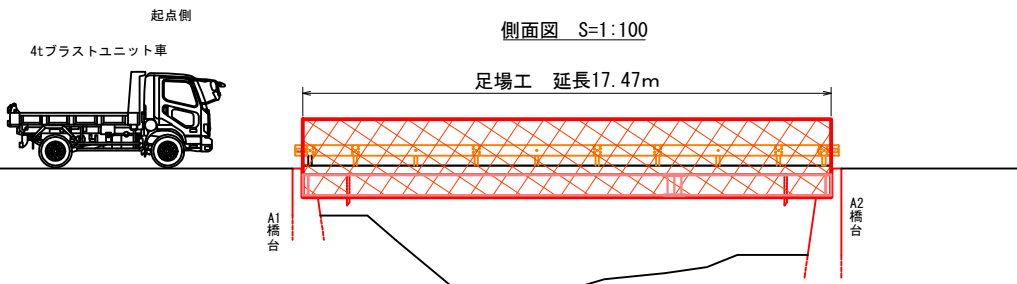
※ 塩ビ管の排水管は腐食しないため塗装しない。

図名	あてらくぼし 補修一般図(当楽橋) 2/2
署名	岩手南部森林管理署
名称	当楽林道調査設計業務
縮尺	1:100



足場工規格	面積 (m ²)
床版補強足場タイプ-A3 吊り足場 (部材移動有)	92.1m ²
床版補強足場タイプ-B 両面朝顔	82.1m ²

※本図面は既存資料および現地測定を基に作成した図面である。
施工の際は現地に即して再度調整する必要がある。

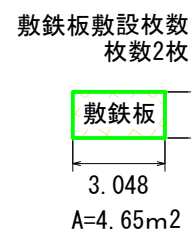


補修提案箇所 (将来計画)
当楽橋より林道終点側 8.0m
木製路面排水工 Aタイプ
L=5.0m



施工時イメージ

※ 施工計画平面図は、施工時の想定図である。
工事受注者が現場状況を踏まえたうえで、
コストのみでなく施工性、工期、安全対策の
確実性などを総合的に比較検討したうえで配置すること。



図名	施工計画平面図 (当楽橋)	1/1
署名	岩手南部森林管理署	
名称	当楽林道調査設計業務	
縮尺	1:250	